

第五次浦添市総合計画 後期基本計画(素案) へのパブリックコメントと市の考え方

受付番号	施策	項目	パブリックコメント	市の考え方
1	1		気になる点として、平成22年11月30日文科科学省訓令第1号を参照いただくと、「及び、並びに、又は、若しくは」の4つの接続詞については漢字を用いるようにという記述があることから、本素案で用いられているひらがなの「および」の部分について、意見を申し上げる。	公用文における「及び、並びに、又は、若しくは」の接続詞は漢字を用いることが原則となっていますが、読みやすさを優先し、ひらがな表記とさせていただきます。御理解いただきますようお願いいたします。
2	1		施策1-1、1-2、1-3について、読点が不足している文章がある。	施策1-1、1-2、1-3について文章を見直し、以下の内容にかかる文章に読点を追加しました。 施策1-1:めざす方向、施策を取り巻く環境、基本的な取り組み 施策1-2:施策を取り巻く環境 施策1-3:施策を取り巻く環境
3	1	1-1	取り巻く環境 質問 特区の中にピアラルの特区が無いようだが、④の国際物流特区に含まれていると考えてよいのか。	浦添市障がい福祉関連施設(ピアラルうらそえ)が認定を受けている特区は、構造改革特別区域であり、施策を取り巻く環境で述べている産業振興に係る特区とは別制度の特区になります。
4	1	1-1	基本的な取り組み 1-1-1-②では、「関係機関とも」と話し言葉のような字句の使われ方	御指摘のとおり、文章における表現としては「関係機関と連携し」が適切と考えますので修正します。
5	1	1-1	基本的な取り組み 1-1-3-①「連携のもと」は「連携の下」がいいのではないか。	公用文としては漢字を使用すべきとの御意見と思われませんが、読みやすさを優先し、ひらがな表記とさせていただきます。御理解いただきますようお願いいたします。
6	1	1-2	取り巻く環境 観光資源の4つ目は、すでに沖縄都市モノレールの新4駅は開通して結構な時間が経過しており、浦添城跡の観光促進につなげるには接続詞が「伴い」ではおかしくなります。	御指摘のとおり、2019年のモノレール延長開業から年数が経過していますが、「開業に伴い、観光客の増加が見込まれるため」では延伸後の状況が反映されていません。当該部分を「モノレールの延長開業に伴う県内外からの観光客の増加に対応するため、」に修正し、後期基本計画策定時の状況を反映させる内容にします。
7	1		「取組」(名詞)なのか「取り組み」(動詞)なのかで送り仮名が替わる。	公用文としては、名詞の場合は「取組」を使用すべきとの御意見と思われませんが、一般的には名詞の場合でも「取り組み」を使用することがあり、ページ構成を前期基本計画と統一させるため「基本的な取り組み」の表記とさせていただきます。御理解いただきますようお願いいたします。
8	1	1-2	基本的な取り組み 1-2-2-①「てだこホール」の正式名称は「浦添市てだこホール」ではないか。	御指摘のとおり、設置の根拠となる「浦添市てだこホールの設置及び管理に関する条例」において「浦添市てだこホール」の名称となっていたため、修正します。
9	1	1-2	基本的な取り組み 1-2-4-①「二次交通」という字句について「※」を置いて定義してください。	本施策における「二次交通」の定義付けする以下の文章を追加します。 ※二次交通:空港や主要駅などの拠点と目的地を結ぶ交通手段。
10	1	1-3	取り巻く環境 就業・労働の状況 ○1つ目 ハローワーク那覇との「協働」という字句は、誤字でしょうか。それとも、通常使われておりますのでしょうか。インターネットで見ると、労働協定に基づいて、ハローワークと地方自治体との「連携」という字句がよく使われているようですが。	雇用対策協定中に、協定の目的として「浦添地域の雇用対策に協働して取り組む」と記載されているため、総合計画でも「ハローワーク那覇との協働」と表記しております。
11	1	1-3	取り巻く環境 主語がないので、全文やりなおし。「本市で営業活動を行っている企業及び各団体のうち、厚生労働大臣が「子育てサポート企業」として認定している「くるみん認定市内企業(2025年(令和7年)9月末時点)」に登録されている企業が7社もあり、今後も同認定を認められる企業及び団体が増えていくように支援して参ります」がよろしいのではないのでしょうか。確かに法人は民法上「人として擬制」されているとは言え「存在します」って言うのは変なので、声を出して読み上げることも大事かもしれません。	ワーク・ライフ・バランスの項の○3つ目についての御意見と思われるため、当該項目についてお答えします。主語がないため修正すべきとの御意見については、御意見を尊重し修正します。法人に対し「存在します」と表現することに違和感があるとの御意見については、公用文及び日本語表記として誤った用法との確認ができなかったため、修正後の文章にも使用させていただきます。御理解いただきますようお願いいたします。修正後の文章は以下のとおりとなります。 「国が子育てサポート企業として認定する「くるみん認定」を受けた市内企業(2025(令和7)年9月末時点)は、7社存在します。」

受付 番号	施策	項目	パブリックコメント	市の考え方	
12	1	3-1	取り巻く環境	重層的支援体制整備事業という用語は、今後使わないこととなったと聞いておりますが、これから5年間使われる後期計画においてそのまま使っても、よろしいのでしょうか。	当該事業は国が創設した事業であり、これまでの国の説明等からも、令和8年度以降も当該事業の活用を推進していることが確認できています。そのため、後期基本計画策定時において、当該事業名称を記載することは差し支えないと考えます。
13	1	3-1		地域福祉計画の正式名称が誤っております。正式には「てだこ・ゆいぐるプラン第6次浦添市地域福祉計画・第7次浦添市地域福祉活動計画、第1次浦添市再犯防止推進計画」となっております。	御指摘のとおり、「浦添市再犯防止推進計画」の記載がありませんでした。取り巻く環境、基本的な取り組み及び関連する主な個別計画等の記載を「てだこ・ゆいぐるプランー浦添市地域福祉計画・浦添市地域福祉活動計画・浦添市再犯防止推進計画ー」に修正します。
14	1		(ほかにも御質問・御提案あり)		施策1-1、1-2、1-3、3-1について、めざす方向・取り巻く環境・基本的な取り組みにかかる上記以外の御質問・御提案については、御意見として承り、庁内関係部署へ共有し、施策の検証、新規施策の検討の際などの参考とさせていただきます。
15					